

【技術の名称】 安藤ハザマ型柱RC梁S造構法 (AH-RCS構法)	性能証明番号：GBRC 性能証明 第19-20号 性能証明発効日：2020年2月3日
	【取得者】 株式会社安藤・間

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート(RC)造の柱と鉄骨(S)造の梁が交差する柱梁接合部を構築する構法である。本技術の柱梁接合部は、RC柱を鋼板製のふさぎ板で囲み、ふさぎ板の上下に通しダイアフラムを取り付けた形式のものである。S梁は柱梁接合部を貫通しておらず、S梁のフランジはダイアフラムに、ウェブはふさぎ板と溶接接合されている。

【技術開発の趣旨】

本技術は、工期および施工費用などの制約条件をふまえて、RC柱とS梁を組み合わせることによって、合理的な混合構造の建築物を実現することを意図して開発されたものである。柱梁接合部をS梁ウェブが貫通する形式に比べ、鉄骨加工面や柱梁接合部のコンクリート打設等の施工面において大幅な改善が図られている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。申込者が提案する「安藤ハザマ型柱RC梁S造構法 (AH-RCS 構法) 設計施工指針」に従って設計・施工されたRC柱S梁接合部は、同指針で定める長期荷重時、短期荷重時、および保有水平耐力時の必要性能を有する。

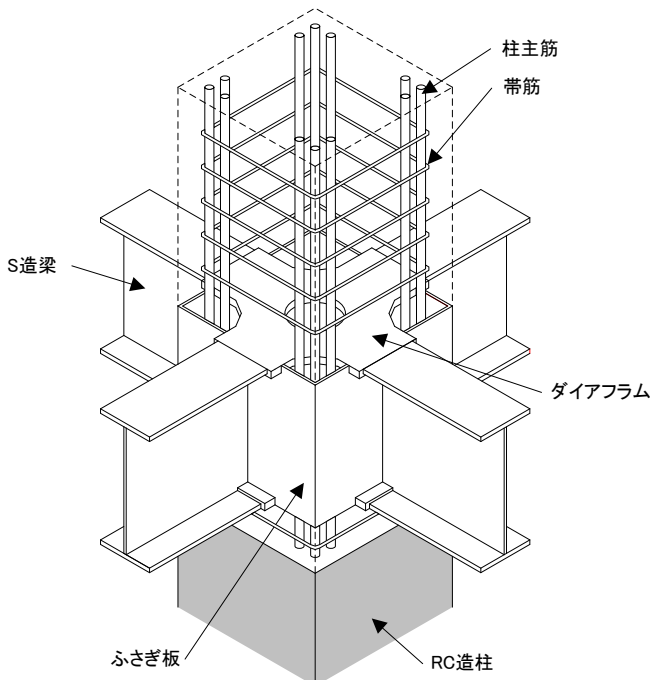


図1 AH-RCS 構法概要

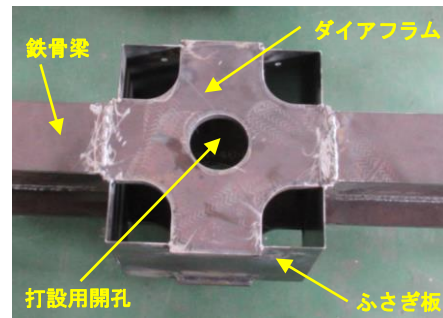


図2 柱梁接合部の詳細



図3 性能検証実験

【本技術の問合せ先】

株式会社安藤・間 技術研究所 担当者：古谷 祐希
〒305-0822 茨城県つくば市荻間 515-1

E-mail : koya.yuki@ad-hzm.co.jp

TEL : 029-858-8812 FAX : 029-858-8819